

8月の様子です。 早朝6時前、好天で青空が広がりました。



イネの成長は充分です。 ハウスの向こうに富士山の頭が窺えます。
太陽を背に受けての撮影、私の姿が写し込まれてしまいました。朝早くです。影が長くなっています。

富士山遠望



土用干しの終わった田んぼに再び水が戻りました。暑い日差しを受け、しっかりと根付いた稲たちです。側溝の用水も水田の中の水も豊作のために満ち満ちています。

次は、イネの花が咲き、お米ができるのを待ちます。





土用干しを経過したイネ、田んぼの土の中に力強く根を張っていることでしょう。



大山に抱かれるような寺田縄の水田地帯、金目川から引かれる用水の水源です。



私たちの田んぼの北側です。早朝からの農作業です。しぐさから、肥料を散布しているように見えました。



早朝の富士山

早朝の大山



<付録> 落花生のその後

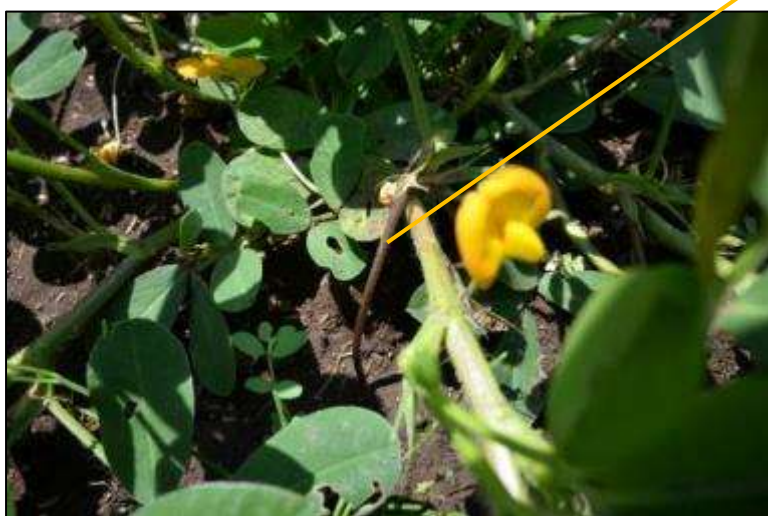


花です。
長い「柄（つか）」の先に花を付けています。



花が終わり柄がさらに伸び、地面に向かいます。

花の子房柄



花の「子房」が地面の中にもぐって行きます。土の中で豆が生育し、落花生となります。

前回は記しましたが、落花生は、花が土の中にもぐり、豆に育ちます。

まさに、落花生です。